

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

秋葉区自治協議会(第1部会)

区分	内容
テーマ・事業名	きらめきサポートプロジェクト 【事業費予算 1,230千円】
事業目的・概要	地域コミュニティの活性化や福祉、防災、文化振興など、様々な地域課題の解決につながる取り組みを地域の団体と協働で実施し、「きらめく秋葉区」に向けたまちづくりを目指す。
事業の実施実績 (実施回数,参加者数など)	<p>(1)アキハフジンロックフェスティバル [ドタミファソラシ堂] ・会議:9月7日(火)、12月10日(金) ・リハーサル:10月29日(金)秋葉区文化会館 ・オンラインで音楽ライブ、キッズヨガダンス、絵本読み聞かせ、秋葉区の紹介動画などを生配信:11月26日(金)15組参加、12月18日(土)17組参加、1月22日(土)8組参加、2月25日(金)11組参加 秋葉区文化会館 ・対面方式ライブ:3月8日(火) 10組参加 金津コミュニティセンター</p> <p>(2)田家～秋葉湖周辺案内地図設置事業 [新津中央コミュニティ協議会] ・会議: 8月28日(土)、10月5日(火)、2月24日(木)、3月18日(金) ・案内地図設置:①妙本寺、泉の道(3 清水)周辺②水無提周辺③諏訪神社周辺の3か所(上部に地図、下部に矢印表示 600×900mm)</p> <p>(3)クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり [あきは害獣対策プロジェクト] ・会議:9月24日(金)、11月8日(月)、1月27日(木) ・勉強会:「秋葉区民をクマ・イノシシから守るために」12月12日(日) 新津地区市民会館 参加者 25名 ・広報活動:金津におけるイノシシの出現状況をテレビ放映、新聞報道 ・携帯用パンフレット作成配布: ①区内の小・中・幼稚園等17校7幼稚園 2月24日(木)5,758部 ②小学校1校 2月25日(金)190部 ・クマよけスプレー配付:金津、山の手、新聞コミュニティ協議会 3月8日(火)</p>

	<p>(4)楽しみながら防災を学ぶ「イザ!カエルキャラバン!」を秋葉区で開催する  [みそら野地区自主防災会]  ・会議:9月5日(日)、9月15日(水)、11月7日(日)、12月11日(土)  ・防災イベント:「イザ!カエルキャラバン!」  1月28日(日)荻川コミュニティセンター 参加者96名</p>
<p>事業の評価</p> <p>地域課題の区自治協議会提案事業  事業評価抽出方法  や企画立案の評価  事業の公益性・実効性・効率性の評価など</p>	<p>【個別事業】</p> <p>(1)アキハフジンロックフェスティバル  [ドタミアソラシ堂]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な子育てを楽しくやりたい。核家族化が当たり前になった社会の中で孤立化せず、大勢の人とつながっていくことは、育児の中で大切なこと。集まるのが難しくなってしまった社会の中から、今回の取り組みは興味深い。ママが元気なのは子供にとって一番。</li> <li>・朗読あり、散歩ありのオンライン。方向性は評価できる。</li> <li>・ZOOMでの参加、チラシ配布。なかなか結果に繋がらない。予算は具体的である。</li> <li>・子育て支援センター等を利用して参加者を募っており、地域性は評価できる。</li> <li>・対面ライブになれば参加者も増える。継続性は評価できる。</li> <li>・11月から毎月開催し、県外からの参加者ともつながりながら自宅での親子の時間を楽しむことに貢献していた。</li> <li>・秋葉朗読の会・高塚農園・パパママ銭湯といった地域の活動団体・企業とも連携し、秋葉区ならではの活動を展開していた。</li> <li>・オンラインによる事業展開は予算面で難があるが、視聴者である親子の喜び溢れる様子がテレビ画面に双方向的に表示され、瞬時にその状況に対応したパフォーマンスが可能となるものであり、子育て中の母親への連帯意識の醸成、支援意識の強化等、事業目的の達成には遜色はないと思われる。</li> <li>・オンライン実施について、参加者は設定等に煩雑な事前作業が必要となるが、それは支障とはなっていないことがうかがえる。</li> <li>・事業全体としては評価されるが、目的達成をより高めるためにはオンライン方式よりも対面による進行がベターである。</li> </ul> <p>(2)田家～秋葉湖周辺案内地図設置事業  [新津中央コミュニティ協議会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて秋葉山を訪れた人にとって分かりづらい場所だと思う。どこにどんなものがあり、ここを歩いていくとどこに出るのか、どこに繋がっているのかが分かるように分岐点案内地図を設置し、誰もが安心して安全に散策を楽しむことができるようになると思う。</li> <li>・秋葉山とその周辺の市民への認知度が向上し、秋葉区以外の人々が秋葉山</li> </ul>

	<p>を利用しやすくなり、遊歩道として歴史・文化を求めて散策などの活動をする人たちが増えることが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は田家周辺であったが、また来期もさらサボに応募し、昨年実施したMTBコース、キャンプ場、秋葉湖周辺、その他に分岐点地図を設置し、魅力ある地域作りを目指してってもらいたい。</li> <li>・案内地図が設置出来たらぜひ見ていただき、意見を聞きたい。</li> <li>・秋葉区の宝である秋葉山をアピールし、安心して散策できることは大切なことと思う。今後はもっと深く入り込んで、山全体の案内等に力を入れていくよう、継続的に進めていけたら良いと思う。更にキャンプ場の充実も望む。</li> </ul> <p>(3)クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり [あきは害獣対策プロジェクト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、個人が出来る事といえば、大型獣に出会わないことに尽きると思う。今回の取り組みは大変大切なことで、近隣市町村との連携も大切かと思う。そうなると、秋葉区のみ対応は非常に難しく、行政の出動もお願いしていく必要を感じる。</li> <li>・秋葉区山間の地域では大きな問題であると改めて感じた。あきは害獣プロジェクトの今後の展開に期待し、秋葉区役所も何か起こる前に補助をしていただきたい。</li> <li>・勉強会は、秋葉区の内情、クマ・イノシシ等に遭遇した時の対処法、遭遇しないための対策など実りある内容であった。広報が足りなかったのか、危機感・興味が少ないのか、30名弱の出席であったが、伝わったと思う。</li> <li>・このプロジェクトに関わることで、改めて身の危険が身近にあることを感じ、手遅れにならないように対策しなければと思い、この企画の必要性を感じた。</li> <li>・開催された「勉強会」は、やはり多くの方々に参加していただきたいので定期開催ができればさらに良いと思った。</li> <li>・当面する地域の課題解決に的確に対応した事業であり、地域間の連携の構築強化に繋がる良好な事業であった。</li> <li>・子供達の登下校に於ける安心安全と、地域住民の猛獣対策の意識高揚を行った。</li> <li>・関係する地域と行政が一体となったの事業推進であり、大きい効果が期待されている。</li> </ul> <p>(4)楽しみながら防災を学ぶ「イザ!カエルキャラバン!」を秋葉区で開催する [みそら野地区自主防災会]</p>
--	---

	<p>・子どもの時から防災に関心を持ってほしいという思いは伝わったと思う。楽しく会場を巡っていた子どもたちの表情から、遊びやゲームの回数を重ねること、自然と防災への関心が身に付いていたことがうかがえた。今回は参加人数を確保できたが、これからの課題は、どうアピールしていくのか、今回のような防災行事とするのか、イベントの中に練り込んで実施するのか、選択方法は多いと思う。また、底辺を広げるためにも、小・中学生参加の学校行事にまで発展すれば良いと思う。参加賞は、防災に関連したグッズ（防災メガネ・水筒）やチョコレート味の非常食（ようかん等）と、今までの常識にとられない品物であった点は良かったと思う。</p> <p>・採択団体が主体的に取り組んでいた。</p> <p>・難しい状況であったが、実際に開催したことは評価できる。</p> <p>・防災に関する自治会、コミ協の意識改革により、防災意識の高揚が認められた。</p> <p>・家族内における防災の見直しと災害時における連絡体制の確立。</p> <p>・防災に強い秋葉区の基礎作りの一助を担った。</p> <p>・次年度も継続して訓練を望む声があり、好評で、地域の期待に応えた有意義な活動であった。</p> <p><b>【全体を通して】</b></p> <p>・第1部会の全員がそれぞれの開催日を共有し参加してもらえたら良かった。</p> <p>・きらめきサポートプロジェクトでの4事業とも夫々個々の事業としてはそれなりの成果はあったと思われるが、事業の成果を未来にどう生かし秋葉区の活性化に繋げていけるのか（SDGs）。単発事業にならないような事業形態を構築する必要が有ると思う、例えば、自然環境豊かな秋葉丘陵を基軸にした「秋葉湖周辺案内地図設置事業」や、応募の有ったマウンテンバイクコースの整備や、近日ニュースになっている新津工業高校と民間企業のコラボによる「東屋」の新設など、秋葉丘陵整備をベースに自治協議会&amp;秋葉区&amp;民間事業者等が一体となった組織の構築が望まれる。秋葉丘陵は区民のみならず距離的にも交通のアクセスからも新潟市民全体の「憩いの場」としての要素は多めで、周辺地域からの流入人口による商店街の繁栄にも大きく関与する。新年度の事業に期待。</p> <p>・各事業とも成果はあったと認められるが、継続性が求められる。</p> <p>・地域課題解決のために、このプロジェクトは非常に良い企画だと感じる。動き出したいけれどお金の面で動けないことを自治協議会がフォローする。また、自治協議会も絡む事で相乗効果もあると感じた。更になかなか関わりのない地域や団体の魅力や課題に自治協議会として気づきもあると思う。</p> <p>・事業実施期間を長くとれるよう、工夫が必要であった。</p>
--	---

<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の実施にあたり、区役所の関わりがもっとあってもよかった。</li><li>・担当以外の事業の進行状況を自治協委員で共有する機会の必要性を感じた。また、自治協との連携の内容については、参加者と事務局、担当者間での理解の仕方が異なっていたため、あらかじめどのような意味で連携するのかについて確認しておくことでより円滑に活動を進めることができる。</li><li>・担当者からの会議報告が提出されることで会場利用の減免等ができるようになるといった手続きの共有はあらかじめしておく必要がある。</li><li>・きらめきサポートプロジェクト全体としては、とても良い企画だと思うので、実施した各プロジェクトの報告や広報を紙面記事のみならず、映像記録として残し、SNSなどで配信し、より多くの方々により楽しく見てもらうことができればさらに盛り上がっていくのではないかと思う。</li></ul>
--